

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立倉敷まきび支援学校	実践者名	高山 麗未
実践場面 (教科、領域、行事等)	生活単元学習		
単元・題材名	「校外学習・美観地区へGO！」		
学習目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な情報から、活動内容に見通しをもつことができる。 ・写真を見て、具体的に校外学習のことを振り返ることができる。 ・iPadアプリ(写真・Safari・Google Map)の基本的な操作の方法を知ることができる。 		
対象の児童 生徒の実態	小学部6年 <ul style="list-style-type: none"> ・校外での経験不足により、校外学習に不安がある児童がいる。 ・校外学習の目的地や行き帰りの方法にイメージをもちにくい。 ・視覚的な情報があることで、理解が深まる児童が多い。 ・iPadの操作に慣れておらず、Youtube以外の使用方法を知らない。 		
活用の概要(使用アプリ名を含む) ※写真も掲載する			
<p>(1) 目的地・行き方を確認しよう(事前学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館のホームページを見る ・スクリーンショットを撮る <p style="text-align: center;">→ </p> <p>(2) ウォークラリーをしてみよう(事前学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストリートビューで、実際に歩く場所を見る <p style="text-align: center;">→ </p> <p>(3) 博物館の記録をしよう(当日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館を回りながら、印象に残った写真を撮影する <p style="text-align: center;">→ </p> <p>(4) 博物館の思い出を紹介しよう(事後学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が撮影した写真からお気に入りのものを登録 ・クラスの友達に紹介する 			
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目的地や行き方を自ら積極的に調べる姿が見られた。 ○博物館での過ごし方(お気に入りの写真を見つけて撮る)が明確化した。 ○写真を見て、具体的に振り返りができた。 ○アプリの基本的な操作(写真を撮る・検索する等)が一人でできるようになった。 			
活用のポイント・改善策等			
<ul style="list-style-type: none"> ・今回獲得したアプリの使用方法を他の学習場面でも生かせるように、漢字の学習や夏休みの宿題場面でもiPadの活用を取り入れた。 例…書き方が分からない漢字があるときに、Safariで調べる/夏休みの様子を写真に撮る <p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の使用アプリをより一層、日常で活用していくこと。 ・使えるアプリの幅を広げ、家庭でもiPadの活用ができるようにすること。 			

